

取扱説明書

このたびは当社のパピッとサーモ Lightをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

| | |
|--|--|
| | 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
| | 注意 人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。 |

警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。過度の衝撃や振動を与えない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用しない。使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- 本器の分解、改造は行わない。修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 本器を加熱したり火中に投入しない。破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らさない。感電のおそれがあります。
- 本器や本器に使用する電池は乳幼児の手の届く所に置かない。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しない。
- 付属の電池を充電しない。充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管をしない。
- 使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換、電子音のオン/オフ切替えをしない。また濡れた手で電池交換や電子音のオン/オフ切替えをしない。感電の危険があります。
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- 電池交換後や電子音のオン/オフ切替え後は必ず電池カバーを閉じてから使用する。
- 長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

注意

- 高温や低温のところ、直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。保管環境温度以外の環境下で保管しない。故障の原因になったり、正しい測定ができなくなります。
- 周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
- 外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は一度、電池を取り外して入れ直し、本器をリセットしてください。
- 本器の測定センサー部を太陽や強い光源に向けない。センサーが破損する可能性があります。
- 測定センサー部に傷があるときは使用しない。測定センサー部に傷がある状態では正しい測定結果を得られません。
- 測定する物体に測定センサー部を接触させない。傷がついたり、汚れや異物が付着すると、誤作動の原因になります。
- 測定センサー部を強く押ししたり、硬いものや鋭利なもので突いたりしない。故障の原因になります。
- 電池残量不足表示が現れたら、すぐに電池を交換する。正確な温度測定ができません。

1.特長

- 本器は、おでこ(額部)から放射されている赤外線を非接触にて測定し、舌下部分の温度に換算して表示する皮膚赤外線体温計です。測定は約1秒で完了し、すばやく温度を表示する特長を備えています。
- 物体の表面温度や室内温度を測定する機能も備わっています。

備考

舌下温度の換算値ではなく、おでこ(額部)の表面温度を測定/確認したい場合は、[6-4.物体表面温度測定モード]の手順でおおよその温度を確認することができます。

2.仕様

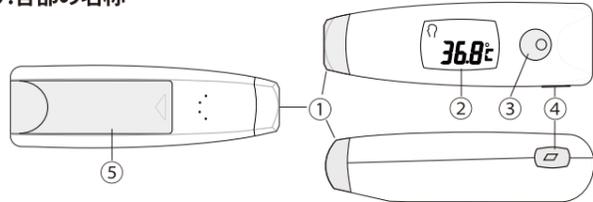
| 項目 | 仕様 |
|-----------------|---------------------------------------|
| 体温測定範囲 (測定部位:額) | +32.0℃～+43.0℃ |
| 体温測定精度 | ±0.2℃: +36.0℃～+39.0℃ ±0.3℃: 上記以外 |
| 物体表面温度測定範囲 | 0.0℃～+100.0℃ |
| 物体表面温度測定精度 | ±2℃ |
| 最小表示単位 | 0.1℃ |
| 測定結果保存数 | 最新 16 件 (体温:最新 8 件、物体表面温度:最新 8 件) |
| 表示部 | LCD |
| 使用環境温湿度 | +10℃～+40℃、15%RH～90%RH (但し、結露のないこと) |
| 保管環境温湿度 | -10℃～+50℃、15%RH～90%RH (但し、結露のないこと) |
| 電源 | 単 4 形乾電池 × 1 個 ※1 |
| 電池寿命 | 約 10,000 回 ※2 |
| パワーセーブ機能 | 約 30 秒間無操作状態で自動的に電源オフ |
| 電撃保護の形式と程度 | 内部電源機器、BF 形装着部 |
| 人体・固形物体に対する保護 | IP2X 準拠 |
| 水の浸入に対する保護 | IPX2 準拠 |
| 寸法 | 約 (W) 31 × (H) 96 × (D) 26 mm |
| 重量 | 約 40g (電池含まず) |
| 付属品 | 取扱説明書、添付文書、単 4 形乾電池 × 1 個 |

本器の仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※1 本器に付属の電池は試供用です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短いことがあります。

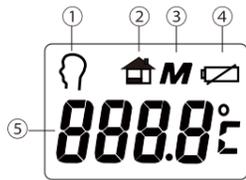
※2 ご使用になられる環境、状態、電池の種類により異なります。

3.各部の名称



| No. | 各部の名称 | 機能 |
|-----|----------------|---------------------|
| ① | 測定センサー部 | 放射赤外線を感知する部位 |
| ② | 表示部 | 温度や本器の状態を表示する |
| ③ | [体温測定] ボタン | 体温を非接触にて測定するボタン |
| ④ | [物体表面温度測定] ボタン | 物体表面温度を非接触にて測定するボタン |
| ⑤ | 電池カバー | 電池収納部の保護 |

4.表示部



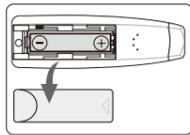
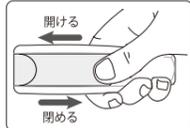
| No. | 名称 | 内容 |
|-----|----------------|-----------------------|
| ① | [体温測定] モード | 体温の測定時に点滅 |
| ② | [物体表面温度測定] モード | 物体表面温度の測定時に点滅 |
| ③ | メモリモード | 保存された温度を表示する時に点灯 |
| ④ | 電池残量不足表示 | 電池残量不足時に点灯 |
| ⑤ | 温度 / 保存番号 | 測定温度及び温度が保存されている番号を表示 |

5.準備

開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないことを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

5-1. 電池の装着および交換

- 本体の裏側にある三角マーク◀に親指を置いて押しながら電池カバーをスライドさせ、電池カバーを外します。
- 古い電池が装着されている場合は取り出してください。
- 新品の単 4 形乾電池を 1 個(アルカリ電池推奨) 極性 (+/-) を確認して装着します。
- 電池カバーを元に戻します。電池カバーは開けた方向と逆方向にスライドさせると閉まります。



<注意>

表示部に電池残量不足を示す “アイコンが点灯したらすぐに電池を交換してください。

体温のしくみと本製品の特徴について

本器はおでこ(額部)の温度を測定し、舌下(口内)温度に換算して表示します。
個人差はありますが、脇下に挟んで測定する体温計より本器の測定結果の方が高くなる場合があります。



人の体温は、臓器の働きを保つために体の内部ほど高く、安定しています。したがって、個人差はありますが一般的には舌下(口内)は脇下に比べて温度が高い傾向にあります。そのため本器を使用して検温を行う場合、脇下に挟んで検温する体温計とは体調の良い時でも異なる数値が表示されることをあらかじめご承知ください。

一般的に赤ちゃんや幼児は新陳代謝が活発なため、大人に比べて体温が高い傾向にあり、女性は月経や排卵期において体温が変化します。また同一人物においても時間や季節、周囲の環境によって体温は常に変化しています。

事前にご使用になられる方の平熱を把握しておきましょう。

全ての人に共通する「正常」な体温というものはありません。また体温は測定位置や測定時間、身体活動や精神的な変化(赤ちゃんの泣くことなど)によっても変わります。さらには外気温や検温の仕方、その他の要因によっても影響を受けます。

本器を正しくお使いいただくためには常日頃、体調の良い時に本器を用いて検温を行い、本器にて検温した場合の「平熱」を知っておくことや、脇下で測定を行う体温計でも検温を行い、本器との温度差を知っておくことが大切です。また、時間帯毎(起床時、お昼、夕方、就寝前等)に本器で検温を行い、1日の体温の変化を知っておくことも有効です。

株式会社カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
<http://www.kk-custom.co.jp/>

6.測定

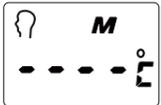
6-1. 測定の前に

| 測定時に守ること |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">本器は体温を確認するための製品です。医師による診断に代わるものではありませんのでご注意ください。本器が周囲の温度になじんでいないと測定誤差が大きくなります。測定時は20～30分程度前に測定する場所に本器を移動して周囲の温度になじませてください。使用可能な目安として、[物体表面温度測定モード]にて室内温度を測定した際に表示される値と測定場所の温度の差が小さいことを確認してください。測定前に長時間本器を手に持ち続けしないでください。本器が温まり正しい測定ができません。[体温測定モード]ではおでこ(額部)以外の体の部位に対して使わないでください。興奮状態や額部に汗をかいている時、肌が紅潮している時、脈拍が早い時、血管収縮薬の摂取時、皮膚のかぶれがある時、虚脱時などに測定すると、わずかな温度変化として現れる場合があることに留意ください。正しく測定できないことがあります。おでこ(額部)の体温が奪われるような通風の良い場所では測定しないでください。正しく測定できないことがあります。被検者が以下の状態にあった場合はおでこ(額部)の温度が安定するまで待ってから検温してください。<ul style="list-style-type: none">-直前まで歩いていた、走っていた、運動をしていた場合。-直前まで測定場所と著しく異なる気温下にいた場合。-直前まで冷湿布などをおでこ(額部)に当てていた場合。-直前まで帽子やスカーフなどを着用していた場合。-直前に入浴やシャワー、サウナに入っていた場合。-ヘア 드라이ヤーを使用していた場合。-直前に食事をした場合。(食事後30分は測定しないでください。)測定部位の汗や化粧品は拭き取ってから測定してください。測定部位に本器を接触して測定しないでください。また水や液体に本器を浸さないでください。正しく測定できません。測定部位に対して測定センサーを約1cmの距離で垂直に向けて測定してください。暖房機の近くなど、温風が直接あたるところで測定しないでください。怪我を防ぐため子供だけで使わせしないでください。上記に記載されている使用上の注意を怠ると、表示される温度が非常に低くなったり高くなったりすることがありますが、この場合は製品の異常ではありません。 |

6-2. 電源のオン/オフ

- [体温測定]ボタンまたは[物体表面温度測定]ボタンを短押しすると電子音が“ピッ”と鳴って“P on”と表示後、“”または“”アイコンが点滅し電源がオンになります。(図-1)、(図-2)本器に自動保存された測定値がある場合、表示部に最新の測定値が表示されます。(図-3)、(図-4)
- [体温測定]ボタンと[物体表面温度測定]ボタンを同時に短押しすると“PoFF”と表示後、電源がオフになります。

[体温測定]ボタンを押下した場合

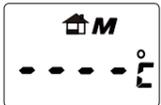


(図-1)



(図-3)

[物体表面温度測定]ボタンを押下した場合



(図-2)



(図-4)

パワーセーブ機能

本器は電池の消耗を抑えるために、無操作状態で約30秒経過すると自動で電源をオフにします。

再び電源をオンにするには、[体温測定]ボタンまたは[物体表面温度測定]ボタンを押してください。

6-3. 体温測定モード

- おでこ(額部)から約1cm離れた場所に測定センサー部が位置するように保持します。(図-5)
- [体温測定]ボタンを1回押しして離すと電子音が“ピッ”と鳴り、表示部に測定した体温と“”アイコン(点滅)が表示されます。(図-6)
- 測定結果が38.0℃を超えた場合は表示部が赤く点灯し、アラーム音が“ピーッピッピッピッ”と鳴ります。



(図-5)



(図-6)

<注意>

測定結果が38.0℃を超えた場合に表示部が赤く点灯し、アラーム音が鳴るように設定されています。人によって発熱と判断される体温は異なるので、表示部とアラーム音だけで発熱の有無を判断しないで下さい。健康上の不安がある場合には必ず医師にご相談ください。

検温結果がおかしいな?と思ったら...

体温が高く表示される

・低い室温の部屋(場所)に置いてあった本器を、高い室温の部屋に移動してすぐに使用した。
→測定する部屋の室温に20～30分程度なじませてからご使用ください。普段、測定をする部屋に予め置いておくと、すぐに使えて便利です。また、[物体表面温度測定モード]にて室内温度を測定した際に表示される値と測定をする部屋の室温がほぼ同じであれば使用可能な目安になります。

・平熱と思われる赤ちゃんや幼児を検温したら38℃と表示した。
→一般的に赤ちゃんや幼児の体温は高めに変化しやすく、平熱の幅が広い場合があります。また、寝起きやぐずり、泣いた後などの興奮状態においては体温が上昇します。

体温が低く表示される

・高い室温の部屋(場所)に置いてあった本器を、低い室温の部屋に移動してすぐに使用した。
→測定する部屋の室温に20～30分程度なじませてからご使用ください。普段測定をする部屋に予め置いておくと、すぐに使えて便利です。また、[物体表面温度測定モード]にて室内温度を測定した際に表示される値と測定をする部屋の室温がほぼ同じであれば使用可能な目安になります。

・本器とおでこ(額部)の距離が適切でない。
→本器とおでこ(額部)の間は約1cmに保って測定を行ってください。

・外気やエアコンの影響を受けている。
→おでこ(額部)にエアコンの冷たい風が当たっていた直後に測定を行った場合、体温は低く表示されます。また、測定においては外気の影響を受けやすいため、風通しの良い場所や屋外での使用は避けてください。

6-4. 物体表面温度測定モード

物体、食品、液体などの表面温度を測定して表示する機能です。

- 測定対象から約2cmに測定センサー部が位置するように保持します。
- [物体表面温度測定]ボタンを1回押しして離すと電子音が“ピッ”と鳴り、表示部に測定した物体表面温度と“”アイコン(点滅)が表示されます。(図-7)
- 本器を室内空間に向けて[物体表面温度測定]ボタンを1回押しして離すと電子音が“ピッ”と鳴り、表示部に測定した室内温度と“”アイコン(点滅)が表示されます。(図-7)



(図-7)

<注意>

・哺乳瓶に入ったミルクの温度を測定する場合、本器を哺乳瓶に向けて測定をしても哺乳瓶表面の温度が測定/表示され、中のミルクの温度とは異なります。
・物体表面温度の測定時に、間違えて[体温測定]ボタンを押して測定すると、正しい温度が測定できません。また“Hi”や“Lo”の表示が出る場合があります。

6-5. メモリモード

体温測定値の最新8件および物体表面温度測定値の最新8件が本器内のメモリに自動保存されます。それぞれ最も新しい測定値がメモリ番号1に、最も古い測定値がメモリ番号8に自動的に保存されます。保存された測定値は以下の手順で呼び出すことができます。

<注意>

・保存された測定値は電池残量がなくなった時、または電池を外した時には全て消去される場合があります。ご注意ください。

- 電源が切れた状態で、[体温測定]ボタンと[物体表面温度測定]ボタンを同時に約2秒長押しすると電子音が“ピッ”と鳴って“P on”と表示後、さらに“ピッ”と鳴ってメモリ呼び出しモードになります。

<保存されている体温の呼び出し>

- [体温測定]ボタンを1回押しすと“”アイコンと“**M**”アイコンが点灯し、メモリ番号1(図-9)に引き続き、最後に自動保存された体温の測定値が表示されます。(図-10)
- さらに[体温測定]ボタンを押す毎に電子音が“ピッ”と鳴り、メモリ番号が2、3、4、…と変化し、測定値が順番に表示されます。メモリ番号は8まで進むと1に戻ります。38.0℃を超えた測定値は表示部が赤く点灯します。測定結果が「Hi」または「Lo」の場合は自動保存されません。保存された測定値がない時はメモリ番号の後に「-----℃」が表示されます。(図-1)



(図-9)



(図-10)

<保存されている物体表面温度の呼び出し>

- [物体表面温度測定]ボタンを1回押しすと“”アイコンと“**M**”アイコンが点灯し、メモリ番号1(図-11)に引き続き、最後に自動保存された物体表面温度の測定値が表示されます。(図-12)
- さらに[物体表面温度測定]ボタンを押す毎に電子音が“ピッ”と鳴り、メモリ番号が2、3、4、…と変化し、測定値が順番に表示されます。メモリ番号は8まで進むと1に戻ります。測定結果が「Hi」または「Lo」の場合は自動保存されません。保存された測定値がない時はメモリ番号の後に「-----℃」が表示されます。(図-2)



(図-11)



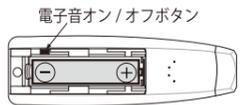
(図-12)

体温、物体表面温度の測定を行う場合は、一度電源をオフしてから再度電源を入れてください。[6-2.電源のオン/オフ]

6-6. 電子音のオン/オフ

本器は電源オン時、温度測定時、保存値呼び出し時、メモリモードから電源オフ時に電子音が鳴ります。寝ている赤ちゃんの体温測定時など電子音を鳴らしたくない場合はオフにすることができます。

電源が入った状態で電池カバーを開け、“つまようじ”の様な金属の材質ではない先端の細いもので奥にある電子音オン/オフボタンを押してください。



7.保管・お手入れについて

<保管方法>

- 温度：-10℃～+50℃
- 湿度：15%RH～90%RH(但し、結露のないこと)
- 保管場所：日光下や電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しない。

<測定センサー部のお手入れ>

- 本器の測定センサー部とその周辺の銀色の部分はとても繊細です。常にきれいな状態に保つために乾燥したきれいな場所で、ほこりなどから保護して保存してください。
- 測定センサー部のほこりや汚れを除去する必要がある場合は、綿棒に消毒用アルコールを少量つけて軽く拭いてください。汚れを取った後、測定センサー部に何も付着していない事を確認してください。
- 測定センサー部は傷つきやすいため、綿棒と消毒用アルコール以外には使用しないでください。
- 液体が本体内部や測定センサー部に決して入らないように注意してください。

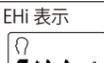
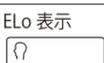
<本体の汚れがひどい場合>

- 水または中性洗剤を浸み込ませた布を固く絞って拭き取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。

<注意>

- 液体が本体内部や測定センサー部に決して入らないように注意してください。
- お手入れ後は、最低30分以上待ってからご使用ください。

8.トラブルシューティング

| 現象 | 原因 | 対策 |
|---|-------------------------------|--|
| 電源が入らず | 電池残量低下 | 電池を交換してください。 |
| 電源が切れず | 内部エラー発生 | 電池を一度外し入れなおしてください。 |
| Lo表示 | 被測定者のおでこ(額部)が冷えています。 | エアコンの風などを避け、おでこ(額部)の温度が安定してから測定してください。 |
|  | ご使用になる環境の温度になじんでいません。 | 20～30分程度測定する室温になじませてから測定してください。 |
| | センサー部が濡れています。 | 水分を拭き取り、20～30分間放置後に測定してください。 |
|  | [体温測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| | [物体表面温度測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| Hi表示 | ご使用になる環境の温度になじんでいません。 | 20～30分程度測定する室温になじませてから測定してください。 |
|  | [体温測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| | [物体表面温度測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
|  | 電池残量低下 | 電池を交換してください。 |
| ErE表示 | 内部エラー発生 | 電池を抜き約1分放置後、再度挿入してください。それでもエラーが表示される場合は販売店に連絡してください。 |
|  | [体温測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| | [物体表面温度測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| EHi表示 | ご使用になる環境の温度が高すぎます。 | 使用環境温度範囲内でご使用ください。 |
|  | [体温測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| | [物体表面温度測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| ELo表示 | ご使用になる環境の温度が低すぎます。 | 使用環境温度範囲内でご使用ください。 |
|  | [体温測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |
| | [物体表面温度測定]ボタンを押して物体表面温度を測定した。 | [物体表面温度測定]ボタンを押して測定してください。 |